

# 抗肥満・抗酸化機能持つ色素

# 藻類培養 量産体制を整備

## 市場をつくる

ファイトロックス社長

伊藤 史紘 氏



ワカメやコンブなど褐藻類に含まれる色素「フコキサンチン」。抗肥満や抗酸化、抗糖尿病など機能性を持つ。しかし、抽出量は100キログラムあたり1〜3%と希少性が高く、市場への供給量は少ない。そこでファイトロックス（沖縄県うるま市、伊藤史紘社長、098・989・5413）は、フコキサンチン含有量の多い微細藻類を培養し、原料にする量産体制を整備。市場拡大と世界シェア50%獲得を狙う。伊藤社長に現状と将来展望を聞いた。

（那覇支局長・三吉能徳）

「培養した微細藻類を原料にするメリットは。季節を問わず量的に安定供給でき、生産計画も立

「天然素材ではそうはいかない。現在、フコキサンチンの重量あたり単価は金

より高い。価格を適正化し、量売っていく。市場のリーダーになれると考える」

「販売先と現在の市場規模は。健康食品メーカーや食品メーカーが顧客だ。まだ市場はとて小さく、栄養補助食品など最終製品ベ

として希少で、大手メーカーがフコキサンチン入り製品を製造するには量が足りない。ダイエット市場は大き

## 価格適正化 市場リード



く、海外に広がれば市場規模は国内の100倍にもなるだろう」

「8月に量産プラントを稼働しました。営業面の感触はとも

良い。製品用や大手企業のサンプル用など、数社から引き合いや発注がある。こちらから営業しなくても絶えずオファーがある」

「競合の状況は。」

地場企業とのシナジー期待

クックポイント

2015年3月設立のベンチャー企業ながら、多額の出資を集め、本社工場で量産プラントを稼働した。大手メーカーの製品化につなげれば、ブームの期待したい。

「海外を含めて今のところ競争相手はいないが、培

「消費者向け製品を自社販売する考えは。」

「利益率を考えればそれぞれが良いが、顧客と競合する

業界では、原料を最初に開発した

企業とつきあい続ける

「沖縄で生産するメリットは。」

「行政の支援があるほか原料をほぼ県内で調達でき

る点。また、沖縄のブランド力や健康のイメージと合

わせて『沖縄産』でアピールしていきたいという思い

もある」